

7-1. 播種性血管内凝固、敗血症、真菌症、手術・処置などの合併症の発症率

ICD-10コード	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

解説

患者数が10未満の数値には、規定により(－)ハイフンを記入しています。

上記傷病名の入院契機「同一」とは、上記傷病名の治療目的で入院し、入院中も上記傷病名を中心とした治療を行うことをいいます。「異なる」とは、上記以外の傷病名の治療目的で入院し、入院中に上記傷病を発症した場合をいいます。

今年度は、上記傷病を発症した症例がありました。

臨床上ゼロになり得ないものですが、少しでも改善すべきものとし、安全で質の高い医療を目指しています。